

< 木村建氏略歴 >

氏名 きむら けん
木村 建

< 公選職等歴 >

岐阜県議会議員 昭和42年 4月～昭和46年 4月
昭和49年 5月～平成15年 4月(9期 33年)
同 議長 昭和59年 5月～昭和60年 5月(1期 1年)

委員長歴 農林委員会、土木委員会、公害対策特別委員会、青少年対策特別委員会、
長寿社会・青少年対策特別委員会、青少年・少子高齢化対策特別委員会、
国際化対策特別委員会、情報技術対策特別委員会、議会運営委員会、決算特別委員会

岐阜県監査委員 昭和51年 5月～昭和52年 5月

審議会歴 岐阜県総合開発審議会委員
岐阜県児童福祉審議会委員長
岐阜県農政審議会委員
岐阜県屋外広告物審議会委員
岐阜県都市計画地方審議会委員

< 団体歴 >

岐阜県地方競馬組合議長 昭和62年 5月～昭和63年5月(1年0月)
同 平成10年 5月～平成11年4月(11月)
同 平成11年 5月～平成15年4月(3年11月)
岐阜県土地開発公社理事 昭和54年 5月～昭和55年5月(1年0月)
岐阜駅周辺鉄道高架事業促進協議会理事 昭和50年 4月～昭和51年4月(1年0月)
岐阜県イベント・スポーツ振興事業団理事 昭和59年 5月～昭和60年5月(1年0月)

< 表彰歴 >

昭和55年10月29日 全国都道府県議会議長会表彰(県議10年以上)
昭和57年 5月 3日 岐阜県知事表彰(地方自治功労)
昭和60年11月 7日 全国都道府県議会議長会表彰(県議15年以上)
平成 2年 4月29日 藍綬褒章(地方自治功労)
平成 2年10月30日 全国都道府県議会議長会表彰(県議会議員20年以上)
平成 6年10月26日 全国都道府県議会議長会表彰(県議会議員25年以上)
平成 7年 5月 2日 岐阜県議会議員永年在職者表彰(県議会議員25年)
平成 9年10月21日 地方自治法施行50周年記念自治大臣表彰
平成12年10月26日 全国都道府県議会議長会表彰(県議会議員30年以上)
平成14年12月 3日 岐阜県知事表彰(県議会議員31年以上)

< 木村建氏の主な功績 >

岐阜県議会議員として

1 議長及び議会運営委員会について

民主的な議会制度の確立、地方財政の健全化、住民負担の軽減、住民福祉の向上等、多くの難題を抱えた県政に直面し、終始冷静な態度でその処理にあたり、よくその重責を果たし献身的な活躍を続けた。

2 総務委員会について

極めて深刻な財政危機の時期に特例公債依存体質からの脱却を重要な政策課題とし、行財政改革による徹底的な歳出の節減合理化を中心とした着実な財政再建に取り組んだ。

3 地域県民委員会について

県下企業の大多数を占める中小企業が果たしている社会的、経済的役割は極めて大きなものがあると認識し、重要な役割を担っている中小企業を取り巻く環境の変化は激しく、技術革新の進展、需要の多様化など激しい対応を迫られているなか、中小企業自らが積極的に技術力の向上を図り、技術開発、新商品開発、製品

の高付加価値化に取り組んでいくことが重要であると考え、これを支援するため、試験場を中心に技術研究、開発指導、人材育成、試験研究機器整備の推進を図った。

さらに、良質な労働力の確保、新規市場の開拓等にも積極的に取り組むなど、地域経済の活性化及び地場産業の発展に大きく尽力した。

4 農林委員会について

生産基盤整備、農業の構造改善、農用地の利用の促進、農業の経営規模の拡大、農用地の地力の維持と培養、水田等農用地の高度利用及び機械化を進め、生産性の高い農業育成に尽力した。

さらに、生産の組織化、後継者の対策、農業の啓発運動の展開、新しい農業技術の開発及び普及という施策を展開し、農業生産の増大に大いに貢献した。

また、林業の振興について、県土の保全、水源林の涵養といった公益的機能など総合資源としての森林整備、森林管理の適正化、活力ある山林の育成、県産林の生産、流通体制の整備に尽力した。

畜産と耕種農業と組み合わせ、畜産経営の安定化にも積極的に取り組み、人間の創意と工夫によって自然食品に近いものを消費者に供給することが農業本来の使命と考え、消費者をしっかりと抱え込むような農業の展開を求め続けた。

これまでの農業を取り巻く環境の打開策として、これまでの零細農業から大規模経営農業への転換による生産性の向上、担い手の育成、さらには、本物志向、ブランド志向と言われる消費動向に対応した高付加価値の農産物の生産などの重要性を訴えた。

5 厚生委員会について

高齢者や障がい者を始めとしての県民が地域社会の中で家族や友人や地域の人々と生き生きと触れあい、安心して暮らせる福祉社会の実現のために各種の福祉施設が地域社会の中にバランスよく配置されるとともに、さまざまな在宅福祉サービスが十分に用意され、高齢者や障がい者が気軽に利用できるようにすることが重要と考え、独居老人のデイ・サービスセンターなどの通所施設への送迎、入浴介助、聴覚障害者への手話通訳などのボランティア活動への県民の参加とその活動の促進を強く訴えた。

さらに、精神障がい者に対する医療費給付や交通費助成等の保健福祉サービスの立ち遅れを指摘し、精神保健サービスに携わるマンパワーの充実や精神障がい者社会復帰施設の充実に積極的に尽力した。

6 教育警察委員会について

創造性に富んだ心身ともたくましい情熱を備えた青少年を育成することは、教育の基本であり、豊かな郷土づくり根源であるとの信念にもとづき、良好な教育環境の整備並びに教育内容の充実に努め、教育振興に大きく貢献した。

また、高校教育の見直しとしての実務高校の設立、派遣社会教育主事制度の充実、社会環境の浄化など総合的な教育問題に積極的に取り組んだ。

さらに私学の健全な発展と教育条件の維持向上に資するため、教育振興費補助金の大幅拡充に尽力した。

7 総合交通観光対策特別委員会について

優れた自然景観、現代にいきづく歴史的遺産誇り高い地域文化などの全国有数の観光資源を有し、かつ国土の中央に位置して東西交通の要衝にある地理的利便を併せ持ち、観光立県を目指した本県において、観光資源の保存、観光地住民の快適な生活環境の整備、観光地域の浄化などに十分配慮しつつ、地域の発展に役立つ観光振興をめざして努力を続け、自然環境の保全と調和、観光資源としての文化財、民族資料の保存並びに調査など観光に関する重要問題の解決にあたった。

8 公害対策特別委員会について

全国に誇る我が県の恵まれた自然環境も、経済発展とともに徐々に大気汚染、水質汚濁等の影響を受け、良好な生活環境の確保が困難となっていた。これら県民の健康な生活を阻害する公害問題の解決に献身的な努力を払った。

また、公害発生施設の改善を図るため、中小企業を対象とした融資制度の創設に努めるなど公害発生の未然防止にも積極的であった。

さらに、市町村における公害防止対策を推進するため、公害防止機器にかかる助成制度を充実させ、本県の良好な環境維持に果たした功績は高く評価された。

9 国際化対策特別委員会について

世界のふれあい広場を目指して、米国ユタ州へ議員訪問団を派遣するとともに、中国江西省とも多面的な交流を図るなど、人と人、人と自然の共生を信念として、草の根の国際交流を積極的に推進した。

また、国際親善岐阜県議会議員連盟の副会長や中南米親善岐阜県議会議員連盟幹事、ASEAN親善岐阜県議会議員連盟会長、文化振興岐阜県議会議員連盟会長として、諸外国の相互理解並びに友好親善の増進に寄与することを目的として、毎年、各国の要人を本県に招き、講演会を主催するなど親善交流の機会を積極

的に設け、国際交流に鋭意尽力した。

10 長寿社会・青少年・少子高齢化対策特別委員会について

高齢者が健康で生きがいのある生活を送るため、福祉、保健医療、就労、居住環境、教育、文化など高齢者を取り巻くあらゆる環境の整備を官民一体となって推進するべきであると考え、福祉施設の整備、高齢者個々の能力を活用するシルバー人材バンクの設置あるいは保健福祉の新しい機器の開発等を県当局に対し強く要請し、明るい長寿社会づくりの推進に多大の尽力をした。

11 岐阜県地方競馬組合について

競馬事業が大衆の健全娯楽として、また、それから得る収益については広く公共の福祉に活用されるべきであると認識し、地方競馬の普及に熱意をもって取り組み、通算20年間岐阜県地方競馬組合議会議員に就任し、永年議長の要職を努め、本県の地方競馬の振興、発展に大きく貢献し、観客動員の減少、管理組合への賃借料の適否、人件費の増加等の問題に対して、県営競馬設立の本来の目的である自主財源の確保のため、収益率をあげるべく経営改善に尽力した。